

**第 1 5 回**

開 催 日 時	令和2年1月28日(火) 午後6時30分～7時30分	
開 催 場 所	新井小学校 会議室	
出席者	委 員	関田光延、川野辺次男、樋口勇、渡邊由紀子、梅原裕之、細川昌代、井上政行、久保功、小野武、濱本敏典、磯貝依史真、須田麗和、齋藤竜、大杉俊男、小池隆一、塩田英俊、杉淵尚、渡辺毅、伊藤廣昭、塚本剛史 <span style="float: right;">(敬称略、名簿順)</span>
	事務局	学校再編・地域連携係
	その他	子ども教育施設課
会 議 次 第	<p>【報告】</p> <p>1 令和小学校の校章デザイン等の報告について</p> <p>【議事】</p> <p>1 学校指定品について</p> <p>2 通学路について</p> <p>3 校旗について</p> <p>4 校歌について</p> <p>5 その他</p>	

**第 1 5 回 上高田小学校・新井小学校統合委員会 会 議 要 旨**

1 開会

委員長

定刻となったため、これより第15回学校統合委員会を開会する。本日、傍聴者はいない。  
 約2年半ほど前に発足したこの統合委員会だが、あと2カ月で令和小学校が開校するという時期まで来た。本日を最後の統合委員会にしたい。また、統合委員会の終了にあたり、教育長が出席している。後ほどご挨拶をいただく。

2 報告

報告(1) 令和小学校の校章デザイン等の報告について

委員長

「報告（１）令和小学校の校章デザイン等の報告について」、事務局の説明を求める。

事務局

■資料「令和小学校の校章デザイン、校旗及び学校指定品等について」

第１４回統合委員会で取りまとめた校章デザイン、校旗及び学校指定品等について、教育委員会に報告をした。報告日は昨年（令和元）年の１１月１５日で、関田委員長、濱本副委員長から入野教育長、戸辺教育委員会事務局次長へ報告を行った。

### ３ 議事

議事（１）学校指定品について （２）通学路について （３）校旗について

委員長

「議事（１）学校指定品について」、「議事（２）通学路について」、「（３）校旗について」、一括で事務局から説明を求める。

事務局

■資料「令和小学校の学校指定品について」、「令和小学校通学路」

学校指定品は、資料のとおり、体育着の上下、通学帽子、水泳帽子、紅白帽子であり、それら５点を学校指定品として教育委員会から支給させていただく。通学帽子は、ブルーの生地にピンク色の刺繍で校章を入れている。体育着のシャツには、左胸に校章マークが入っており、背面には、令和小学校の「REIWA」の文字がプリントされている。これらの学校指定品については、上高田小学校と新井小学校の在校生の保護者の方にサイズ調査を行ったので、３月中旬頃には各児童に渡せるよう、準備を行っている。

通学路については、第１４回統合委員会で通学路の検討状況について説明し、意見をいただいたところだが、最終的な通学路は資料の図のとおりである。図の青色の部分が、新たに令和小学校の通学路として指定した箇所である。また、図のオレンジ色は上高田小学校の通学路、赤色は新井小学校の通学路である。新校の通学路には、通学安全指導員を増員して配置する予定である。

校旗については、前方に完成した刺繍校旗を展示している。色は江戸紫、生地の織り方はつづれ織りで耐久性にもすぐれていると聞いている。刺繍の部分は、銀糸の上に金糸を乗せているような、金をふんだんに使ったデザインになっている。ぜひ近くで、ご覧いただきたい。

委員長

今の説明について、何か意見等はあるか。

—特に発言なし—

委員長

近くで校旗を見ると、立派で、とても高級感がある校旗になったと思う。４月の開校宣言の時

には、この校旗を教育長から校長先生に渡して、そこから新しい学校が始まる。他の小学校の開校式をテレビで見た時、そういう形でスタートしていたので、恐らく、令和小学校も校旗を渡したところで開校となるかと思う。校旗は、そういう象徴的な場面で使われるものなので、思っていたより立派にできて本当に良かったと思う。

#### 議事（４）校歌について

委員長

「議事（４）校歌について」、事務局から説明を求める。

事務局

##### ■資料「中野区立令和小学校校歌」

作詞・作曲を中山真理氏に依頼していた令和小学校の校歌が完成したので、披露したい。歌詞については、お手元の資料をご覧ください。

（校 歌）

委員長

全体的にこの令和小学校の優しさが溢れている曲だと思った。ただ、一通り聴くと長いと感じるかもしれない。2回目の「未来へとはばたこう 令和小学校」までを1番、「いにしえとどめる 小川の流れるは」からを2番として、式典の際には1番だけ歌うという歌い方もできると伺っている。

また、今聞いた音源は二部合唱で歌われているが、二部合唱だと児童には少し難しいかもしれない。パートを分けずに歌えば、子どもたちも歌いやすいと思う。

委員

1回目の「新しい一日が 今日からはじまる」は、少し暗いような感じがする。子どもたちの明るい声で歌えば、もっと聞こえ方は違うかなと思うが、どうか。

委員

「青空に映える 桜の並木は」から始まった方が、子どもたちの声が聞きやすいと思う。

委員

1番の後半部分にある「思いやる心 忘れずにいよう 大事な学び舎 ここがふるさと」と「ありがとうの気持ち 忘れずにいよう 大事な学び舎 ここがふるさと」は、輪唱っぽく歌われていたと思うが、そこが実際に校歌として歌った時にどうなるのかなと思った。もしそれが輪唱でないなら、輪唱でないバージョンも聞いてみたい。

委員長

納品されたCDの音源は、子どもの声と大人の声と二つの音源があるが、どちらも二部合唱になっている。子どもたちだけで歌うなら、元気よく校歌を歌うのもいいが、今視聴した大人の声の合唱のようにきれいに歌おうとすると、やわらかく聞いていただけなのではないかと思う。

#### 委員

委員からいろいろと意見が出ているが、個人的に、1年生から6年生までこの歌を歌い続けることで、子どもたちの歌唱能力は相当上がると思う。公立中学校では、合唱コンクールを毎年やっているため、「令和小学校の子は合唱がうまいね」と中学校で評価を受けるような子どもたちになるのではないかという気がする。すごく現代的で優しいメロディーで、令和という名前にふさわしい、良い歌だなと感じた。

#### 委員長

6年生の卒業式の時に、この校歌を合唱して卒業できたら、卒業して何年か経ってからこの校歌を口ずさんだ時に、「ああ、良い校歌だな」という気持ちが募ってくるのかなと感じた。

#### 委員

学校は統合委員会前に聞かせていただいたが、とてもきれいな良い校歌ができたと思っている。最近の校歌は、ユニークなものが多かったり、ポップなものもあるが、そうしたものに比べると、非常にメロディーがきれいで、明るくわかりやすい歌かなと思う。校歌は歌い継いでいくため、歌っていく中で令和小学校の校歌が子どもたちの校歌になるのではないかなと思う。

実は、この校歌は学校内の職員には紹介しているが、子どもたちにはまだ紹介していない。4月には開校式等でこの校歌を歌い、新たなスタートを切りたいため、新井小学校は、2月3日の月曜朝礼の際に、初めて子どもたちに今の音源で紹介しようと思っている。6年生は、残念ながら中学校に進学してしまうが、2月から練習も始めて4月に歌えるようにしたいと思っている。ハモリもあるが、まずはメロディーをしっかりと歌えるようにしたい。子どもたちも、何度も歌ううちに、自分たちの校歌になるのではないか。歌い継いでいきたい。

#### 委員長

私も先に聴かせてもらったが、今聴いた方が前に聴いた時よりもさらに良さがわかったような気がする。これを何回か聞いて慣れていくうちに、良い校歌だなと思う方も多いのではないかなと思う。これから校歌として歌い続けてほしい。

#### 委員

今聴いた音源が大人の声だったので、頭の中でなるべく子どもたちの声に変えながら聞いていたが、すごく素敵な歌だなと思った。上高田小学校と新井小学校の校歌については、閉校までの残り2か月も大事に歌っていききたい。新しい校歌については、おそらく、地域の方も何回も聞いて、愛着を持ちたいという気持ちがあると思う。この音源は、いつ頃から地域の方も聞けるようになるのか。

#### 学校再編・地域連携担当課長

統合委員会の中でお披露目をしているため、地域の方にも広く公開しても大丈夫だとは思いますが、公開の時期については学校と確認させていただきたい。

#### 委員

4月以降になったら令和小学校の新しいホームページができると思う。その時に、ホームページ上で音源を自由に聞けるようになれば良いと思う。

#### 委員

この校歌には、JASRACが絡むか。

委員長

著作権は中野区にあると思う。個人的見解だが、JASRACが関わってくることはないと思う。

委員

たしか、今の上高田小学校の校歌は、JASRACが何か権利を持っていたような気がする。JASRACに権利を握られると、結構面倒なことがあるような気がするが、それは大丈夫なのか。

学校再編・地域連携担当課長

JASRACの件については、契約書には入っていないが、校歌制作の依頼時に、中山先生とは、納品の時点で中野区に著作権等の権利を渡すという話にはなっている。先生とはそういうことで確認しているが、念のため、再度確認をさせていただきたい。

委員長

地区のお祭り等で、児童たちに校歌を歌ってもらったらJASRACにひっかかってしまったというのでは、町会としても困る。どの場面でも自由に歌えるようにしてほしいと思う。

委員

校歌の印刷もできなくなってしまうので、確認をお願いしたい。

委員長

ほかに意見・感想はあるか。

—特に発言なし—

## 議事(5) その他

委員長

「①円滑な再編のための交流事業の実施状況について」、両校の学校長から説明を求める。

委員

日頃から教員同士のいろんな交流もあるが、まずは、上高田小学校と新井小学校の5年生同士、6年生同士が合同で行った移動教室について報告する。今の5年生は、統合時の令和2年度に6年生となる。どの学年も大事だが、小学校では6年生が一番大きな役割を担う。6年生は、令和2年4月から中学生になるが、今の友達や進学先の中学校等でも、「令和小学校っていい学校だよ」と言ってもらえるよう、5年生と6年生の移動教室を合同で行った。

5年生は、5月22日から24日に軽井沢に行ってきた。上高田小学校と新井小学校の5年生は、令和小学校になった時に同じ学年・クラスで過ごすため、宿泊する部屋割り等、なるべく一緒になれるようにした。上高田小学校の児童の方が人数が少ないため、上高田小学校の児童が少し寂しい思いをしてしまうのではないかと心配していた。しかし、同じ部屋に泊まったり、移動教室中の役割をみんなで分担して過ごした結果、非常に仲良く過ごしていたため、上高田小学校の子が寂しい思いをするのでは、という不安は吹き飛んだ。4月からの6年生としてのベースができたと思っている。

また、7月16日から18日にかけて、6年生は水上の方へ行ってきた。新井小学校の6年生の移

動教室は、ここ数年、水上に行っているが、上高田小学校の子どもたちが水上に行ったのは初めてである。6年生は、5年生よりも両校の児童が一緒に行動する場面が多かった。6年生はもうじき卒業し、中学校へ行ってしまいが、上高田小学校も新井小学校も令和小学校として盛り上がっていくための気持ちを共有できたと思っている。

#### 委員

次に、オリンピック・パラリンピック教育での交流を報告する。

オリンピック・パラリンピックの講演会では、オリンピックの方、パラリンピアンの方を招いて講演会を行った。11月20日の1時間目に、上高田小学校で新体操のオリンピックの方の講演会を行った際、新井小学校の児童も一緒に講演会を聞くことになった。令和小学校になった時の登校の練習にもなるということで、上高田小学校と新井小学校の児童全員が上高田小学校に登校することにした。当初は、オリンピックの講演は上高田小学校で行ったので、パラリンピックの講演は新井小学校で行うことで、両校に登校する機会を設けるという話になっていたが、次回2月25日に行う講演会についても、上高田小学校で行う。今回は、パラアイスホッケーの選手を迎えて講演を行うが、11月に登校した際の通学路から少し変更があったため、回りの講演会も朝の時間帯に上高田小学校で実施しようとなった。会場は2回とも上高田小学校になるが、子どもたちの交流に加え、令和小学校の登下校の経験も兼ねてできればと思い、計画をしているところである。おそらく体育館の空調工事終わっていると思うため、暖かい体育館でできると思っている。

#### 委員長

令和小学校の通学路は、資料「令和小学校通学路」のとおりである。学校にお願いしたいのは、できるだけ上高田小学校で過ごす2年間のうちに、全校児童で新井小学校の校舎に登校練習をする機会を設けた方が良いと思う。今の段階から上高田小学校と新井小学校の各校に登校練習しても、子どもたちは忘れてしまうかと思う。この2年間は上高田小学校の校舎位置に行く通学路に慣れてもらい、新校舎に移転する際に、新井小学校の校舎位置に登校する練習をしてもらえば良いのではないかと思うので、検討いただければありがたい。

#### 委員

また2年後になるが、検討させていただきたい。せっかくの機会なので、通学路についてもう少し説明したい。昨年11月に講演会を行った際と次回2月に行う際とで、通学路を少し変えている。上高田小学校の子どもたちは今までと同じ通学路であるのに対し、新井小学校にいた子どもたちの通学路は変更になるため、通学路の安全に対して新井小学校の保護者の方々の関心がとても高かった。駅の向こう側の跨線橋をなるべく通りたいが、跨線橋や、降りた先の歩道が狭いため、そこに児童が集中してしまうという懸念があった。児童の通学路について、11月の登校練習の時には、新井4丁目にある踏切を通過して沼袋、松が丘のほうまで行き、そこから東の方へ行くコースを考えていた。そのコースだと跨線橋がある駅の近くが非常に混雑するのではないかという懸念もあった。ただ、この新井四丁目の地区の保護者の方々は、通学距離が長くなることや、道幅が狭かったり人通りが少ない道への不安の方が大きく、ぜひ駅前の道を通らせてほしいという意見が非常に多かった。そのため、保護者の方々の安心第一に加え、学校としての希望も入れて、跨線橋を通るルートに変更した。ただ、やはり駅前や跨線橋の手前での混雑が予想され

るため、安全確認を徹底したい。新井小学校は、中野区で唯一集団登校をしている。新井小学校の保護者の方の中には集団登校を続けてほしいという方もいる一方、これを機になくしたほうが良いのではないかという方もいる。ただ、令和小学校になった時に、上高田小学校出身の子どもたちは個人登校、新井小学校出身の子どもたちは集団登校と、一つの学校の中で二つの制度を両立させるのは指導上も非常に困難であり、避けたいと思っている。基本的には、令和小学校になった時に個人登校をすることで考えているが、新井小学校出身の子どもたちの保護者は不安があるため、とりあえず5月の連休ぐらいまでは新井小学校出身の子どもたちは登校班で登校する。それ以降については、個人登校にしたいと思っている。地域の方々には、今後も見守りや応援をいただくこともあると思うが、ご理解いただければと思う。

委員長

地域の方々には、普段から通学路の安全を見守っていただければありがたい。  
ほかに意見・質問はあるか。

ー特に発言無しー

委員長

続いて、「②閉校式・開校式のお知らせについて」、学校再編・地域連携担当課長から説明を求め。

学校再編・地域連携担当課長

まず、閉校式は3月25日の午前中を予定している。新井小学校の閉校式を先に行い、その後、上高田小学校の閉校式を行う。皆様へのご案内は、それぞれの学校からいくかとは思いますが、両校とも出席いただく必要はなく、それぞれの地域の学校に出席いただくことになるかと思う。

次に、開校式は4月25日の午前中に令和小学校で行う。時間等については、改めて通知等がいくかと思う。

委員長

他の統合委員会での話だが、開校式に学校関係者の方だけ招いて、統合関係の方が呼ばれなかったということがあった。そういうことがないように、少なくとも、開校式の通知は統合委員に送ってもらい、新校の開校を見守ることができたらと思っている。

委員

6年生の卒業式は、閉校式の前に別途行うのか。

委員

卒業式は閉校式の前日に行う。

委員長

3月24日に両校の卒業式を行い、25日に閉校式が行われる。

委員

閉校式は、卒業生など一般参加もできるのか。

委員

まだ十分に話を詰められてはいませんが、先ほど委員から話があったように、卒業式が先に行われる。卒業式を終えた6年生も、翌日の閉校式には出席することで計画している。もちろん、統合委員の皆様には来賓という形でお越しいただきたいと思っている。その際、上高田小学校の児童数はそれほど多くないが、1年生から6年生までの全校児童と来賓の方が出席するとすると、体育館のスペースにもかなり限りが出てくる。

委員

近々、僕らの年代で同窓会をするのだが、上高田小学校が閉校するという話でみんな盛り上がっていて、閉校式に出たいと言う人が何人かいる。おそらく、すごく思い入れがあるのではないかと思い、卒業生も閉校式に参加できるかについて確認すると伝えたのだが。

委員

すぐ答えなければいけないと思うので、検討する。

委員

無理にとは言わない。

委員

2月22日の上高田小学校フェスタの時にお答えする。

委員

上高田小学校の校舎は、令和小学校になってからも、新校舎に移転するまでの2年間は残る。しかし、新井小学校の校舎は、3月末には取り壊しが始まる。新井小学校の校舎も、長い間地元の皆さんに親しまれた場所なので、3月20日にオープンスクールの開催を予定している。PTAの皆さんにも受付等ご協力をいただきながら、地域の方、保護者、卒業生、同窓生の皆さん、どなたでも来て、見て、別れを惜しんでもらえるような日として設定している。学校だよりには書いたが、これからホームページや保護者の方にもお知らせをする。町会に回覧してもらったり、周りに関係者の方がいたら知らせてほしい。新井小学校の校舎は4月にはなくなるので、そのお別れの日として1日設けている。

委員長

新井小学校のオープンスクールについては、機会があれば、委員の皆さんから地域の方々にもお伝えしていただければと思う。ほかにあるか。

子ども教育施設課長

上高田小学校のヒマラヤ杉の件について、報告がある。前回の統合委員会でも報告したとおり、今、乾燥作業を進めている。5月頃に乾燥作業が終了すると見込んでおり、その後、校歌の額縁と校名板、標本木に加工した上で、6月頃には令和小学校に納品する流れである。

前回の統合委員会において、校名板を一枚板で作ることについて、難しいのではないかという声があった。その後、乾燥作業等を進めていく中で、やはりあのサイズを一枚板でつくるのは難しいため、張り合わせて加工して作成することで進めている。

また、新井小学校の校庭にあるヒマラヤ杉の活用についても、新井小学校から提案があった。新井小学校の解体工事の際に、ヒマラヤ杉を伐採して、その一部を上高田小学校のヒマラヤ杉と同じように標本木の形に整えたいと考えている。まだ予算化には至っておらず、来年度の話にな

るため、確定的なことは申し上げられないが、そういう方向性で調整がつきそうな見込みである。以上である。

委員長

他に意見はあるか。

委員

オープンスクールについての補足をしたい。オープンスクールに関してのお知らせは、新井区民活動センター管轄の町会である新井地区町会連合会に属する新井五町会の回覧板で回覧させていただくことで承認を得ている。その他、沼袋町会と松が丘町会、江古田地区、上高田地区に関しては、また別の管轄になるので、そちらの方々については掲示板等のお知らせを貼り、周知したいと思っている。

また、卒業制作等を引き取りに来たいという方については、20日のオープンスクールにもいらっしゃるかもしれないし、それまでも学校の方に問い合わせをする方もいると思う。卒業制作等については、学校が全部終わってから取り外すということを学校から聞いているが、卒業制作等の受取を希望する方たちが学校に入れる日を学校と相談して決めたいと思っている。もし、受取に来る方がいるとすれば、私たちPTAも案内等、お手伝いができればと思っている。

委員長

例えば、20日のオープンスクールの際に、欲しい卒業制作等について希望をとり、それを実際に受け取れる日はいつになるか等、具体的に進めてほしい。学校の建て替え工事まで日にちがないため、できるだけ効率的に決めていただきたい。

子ども教育施設課長

解体工事の業者との契約はこれからになるので、別途ご案内することにはなるが、3月3日と7日に新井小学校の校舎解体工事の説明会を予定している。説明会実施時には、工事事業者が決まっていると思うが、3月の閉校式後、特に4月以降になると、学校の鍵の管理等は区に移るため、卒業制作等に関する要望はこちらに相談いただければと思う。ものにもよるが、具体的なところはまだ全くわからないところだと思う。

委員

今、新井小学校の廊下にある、木で彫った似顔絵等、壁にくっついてしまっているものはどうか。

子ども教育施設課長

個人がつくった卒業制作等の受渡しについては、そんなに難しくはないと思う。例えば、ものすごく大きな鏡を持って帰りたい等、そういう要望等も出てきてしまう可能性もなくはないと思っている。漏れがないようにはした方が良くと思っているが、一つ一つ教育委員会の方でヒアリングできるわけではないので、これとこれは壊さないで残してほしい等、要望があれば、あらかじめ事務局に連絡いただきたい。

委員

旧中央中学校と旧第九中学校の統合の時に同じような話題になった際、卒業制作をどうしても欲しいという方がいたが、その時の窓口は教育委員会にやってもらっていた。上高田小学校と新

井小学校についても同様に、閉校式後は、学校の権利も管理も外れてしまうため、教育委員会に直接問い合わせるよう周知した方が良いと思う。

委員

では、問い合わせ先を伝えるということで良いか。

委員

それが良いと思う。

委員

卒業制作品を取り合いになることもあると聞いたことがある。

委員

基本的に個人がつくった卒業制作品等を返すという考え方なので、大きいものを記念にどんどん持って行って良いということではない。おそらく、大きな鏡などは対象にならない。あれもこれも全部記念に欲しいという人を許容するのではなく、あくまでも個人でつくったものを返すという考え方である。何か良いものがあるって、引き取り手がいないなら自分が引き取るという考え方ではない。

委員

卒業制作品等に関する問い合わせは、学校にお願いして良いか。

委員

学校は把握するところまでで良いと思う。

委員

卒業制作品がもらえるとは知らなかった、欲しかったのに、という事態を避けるために、周知や取りまとめは学校がするというようお願いしたい。

委員

問い合わせは教育委員会にいただきたい。

委員長

それでは、本日は最後の統合委員会ということで、各委員から一言ずついただきたい。これまでの感想や新しい学校への期待等、発言は何でも結構である。では、順番にお願いしたい。

委員

上高田小学校としては、卒業式、閉校式に向けて、今後も教育活動の充実に努めていく。そして、上高田小学校は2月22日に上高田小学校フェスタを実施するが、委員の皆さんもさまざま企画してくれている。2月22日、ぜひ上高田小学校にお越しいただければと思う。

委員

私も本当に同じ気持ちである。この2年半大変お世話になった。

私は中野区以外の学校でも統合に関わったことがあるが、こんなにスムーズかつ協力的で、いろんな意見を出し合いながら、統合に向けて一丸となって協力いただけたのは、他区ではないのではないかと考えている。自慢したいことの一つは、これまでの中野のどの統合校よりも、校長同士の仲が良かったと自信を持って言えることである。統合新校の開校に向けて、皆さんにはこんなにもご尽力いただいたので、その恩に報いるのは、令和小学校の職員が仲良く、そして皆さんに信頼いただけるような学校にすることだと思っている。そこに向けて、学校としても力を

合わせて頑張っていきたい。

委員

上高田と新井の地域が本当に仲が良く、また、学校や子どもたちのためにという部分での地域の団結力が本当に素晴らしく、学ばせてもらった。

上高田小学校としては、残り2カ月も子どもたちに最高の思い出をつくって、令和小学校でも思い切り羽ばたいていってもらえるように、しっかりと取り組んでいきたい。令和小学校になってからも、ぜひお力添えをいただければと思う。

委員

上高田小学校の子どもたちと新井小学校の子どもたちが一緒に活動する機会を何度か見てきたが、子どもたちは、私たちが思った以上に柔軟に関わっている点が印象的であった。それもやはり、それぞれの地域が協力してくれているからだと思う。令和小学校の校歌の最後には、「心をつないで 歴史を受け継ぎ」とあるが、私は、新井小学校で、次の歴史を受け継ぐために子どもたちにできることをたくさんやっっていこうと思っている。

委員

2年半、この場にいられて本当に充実していた。私の母校でもあるため、携われてよかったというのが正直な感想である。

委員

2年半があっという間に過ぎてしまったという印象がある一方、2年半かけないとここまで物事が進まないということも実感させていただいた。皆さんにも大変感謝している。今後ともよろしく願いたい。

委員

私はどちらの学校の出身でもないが、舅、主人、子どもたちと三世代でお世話になった学校の最後に関わることができて、本当に光栄だった。これからも上高田に住み続けていく中で、次の世代の子どもたちも見守っていける立場にいられたらなと思う。

委員

本当に2年半、あっという間に過ぎた感じがする。上高田小学校と新井小学校の子どもたちは、互いに知り合いが多く、前から一緒に遊ぶことが多かったと思っているが、そういう面で、これから開校する令和小学校もそんなに心配することはないと思った。

委員

母校の統合に関わられて良かった。役に立てたかどうかはわからないが、この場を借りて感謝申し上げます。

委員

私も新井小学校の卒業生であり、上高田小学校と新井小学校の統合について最後まで関わられたことを非常にうれしく思う。また、学校の統合は少し残念だが、やはり時代の流れかなと思うため、令和小学校が開校してからも、子どもたちが楽しく通えるように見守っていきたい。

委員

私も上高田小学校の卒業生ではあるが、この場に関わることができて本当に良かったと思っている。

先ほど他の委員からも話があったが、2月22日に上高田小学校フェスタを行う。その中で、同窓生ブースというのをやらせていただく。宣伝みたいになって申し訳ないが、同窓生の方に集まっただいて、ざっくばらんに話ができる憩いの場として開放する予定である。ぜひ、卒業生の方にはお声かけしていただき、参加いただければと思っている。

この地域は、非常に仲が良く、思いやりのある、団結力のあるすばらしい地域だと思う。令和小学校になってからも、子どもたちの元気と笑顔が溢れるような素晴らしい小学校になっていければと思う。

委員

私は1年間だが、本当に皆さんにお世話になっていると実感した1年間だった。委員長、副委員長には、2年半もの間、みんなを引っ張っていただき深く感謝している。安心してこのまま統合に向けていけると思っている。引き続き、よろしく願いたい。

委員

私は、江原小学校出身であったため、上高田小学校と新井小学校の文化に触れる機会が少なかったのだが、この2年半の統合委員会とPTA活動を通して、地域の温かさやつながりを大変勉強させていただいた。私には今、2年生の子どもがいるが、下の子どもはまだ小さいため、おそらく令和小学校になってからも、PTAとして10年ぐらいの付き合いになると思う。これからはPTAとして学校や地域の活動には協力していこうと思っているが、この委員会で皆さんとお会いできたことが大きな財産になったと思っている。

委員

私は大変な方向音痴で、上高田小学校に1回で辿り着けないことが何度かあった。この委員会には途中から参加させていただくことになったが、参加することができて本当に良かったと思っている。最後に校歌を聞いて、校歌と言うよりも、何か素晴らしい合唱曲を聞いたような感じがする。これから子どもたちが歌っていけるので、とてもいいと思う。また、通学路が変わるため、私たち地域の方でも協力して見守っていきたいと思っている。

委員

新井の町会の役員としてこの統合委員会に参加させていただいた。学校の統合に向けては、校旗や校歌など、様々なことを話し合っていく必要がある。私はあまり皆さんの役には立てなかったかもしれないが、皆さんが真剣に意見交換をする姿を目の当たりにして、とても感動した。2年半、非常に勉強させていただいた。

委員

私も上高田三丁目の町会長、上高田小学校のOBでもあるということで、この会に参加させていただいていた。上高田小学校は、我々の時代に、NHKの合唱コンクールで3度全国優勝を果たしており、そういう伝統ある小学校がいよいよなくなってしまうという寂しさを非常に痛感している。皆さんとこうして令和小学校という新校名を命名させていただき、この委員会に参加できたことに深く感謝申し上げます。令和小学校は、これから新しい歴史をつくっていくと思うので、いい学校となるよう期待したい。

委員

2年半の会議の過程の中では、シビアな話題もあったが、最終的には校名も決まり、新しい校

歌も耳にすることができて、本当に良かったと思う。こういう穏やかな新井と上高田のまちに、また新しい学校が誕生する。令和小学校の校歌の中に、「新しい一日が 今日もしまる」とあるように、新しい学校をみんなで応援していきたい。委員長をはじめ、委員の皆さんに感謝申し上げます。

委員長

最後になるが、2年半、委員長という難しい役を一生懸命やってきたつもりだが、その間に1回もいがみ合ったり、大きな声を出すことがなく、学校の間取りから校旗や校歌まで全て仕上げることができた。この委員会に携わり、令和小学校の礎をつくることができたのは、本当に名誉なことだと思っている。上高田と新井の二つのまちを代表するような学校にこれから育っていければ、この上ない幸せだと考える。この統合委員会を何かあるたびに私は口にして褒めたたえたいと思っている。今までいろんな会議に出てきた中で、これだけまとまって一つのものをつくり上げられたのは、このメンバーだったからこそだと思っており、皆さんには本当に感謝の気持ちでいっぱいである。

では、最後に入野教育長からご挨拶をいただきたい。

教育長

委員長をはじめ、統合委員会の皆様には、2017年8月29日の第1回目から約2年半の間、いろいろな思いがある中、子どもたちのために一つになって進めていただいたこと、感謝申し上げます。その間に教育委員会では教育長、担当課長が替わり、様々なご不便やご迷惑をおかけしたかと思うが、子どもたちのために今日までやっていただいたことを重ねて御礼申し上げます。上高田小学校と新井小学校の子どもたちは、これから2カ月母校の誇りを持って、さらに誇りを膨らませて、統合新校である令和小学校に向けて進んでいくと思う。統合委員会は本日で最後となるが、統合委員としての役目は小学校が開校するまで、さらには、新しい学校としてスタートしてからも、地域の子どもたちを見守っていただければありがたい。教育委員会としても、全力でバックアップしていくので、今後ともよろしくお願ひしたい。

委員長

では、最後に記念撮影をする。この写真を最後の統合委員会のニュースに掲載する。これをもって、統合委員会を終了する。

—記念撮影—